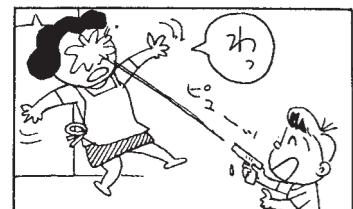


「憲法と職場・仕事」 メッセージ運動

原稿やメッセージを
募集しています

ニュース笑アラ@
芝居☆友偉



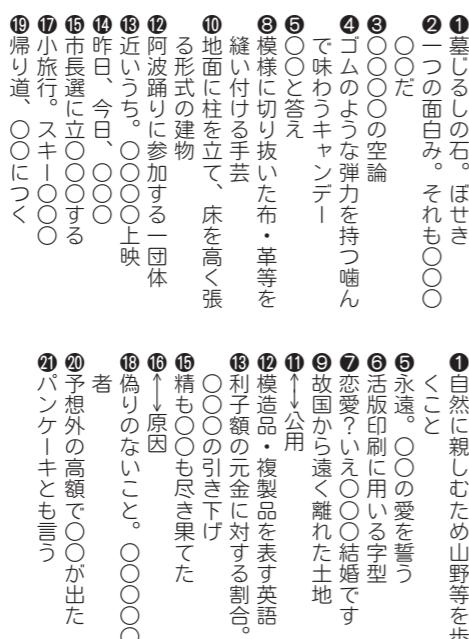
正職の方、非正規職員の方も
職場のこと 仕事のこと
ひとりで悩まず
お気軽に相談してね

大阪自治労連では、「憲法を守り生かす大運動」のとりくみのひとつとして、この夏季闘争のなかで、「憲法と職場・仕事」メッセージ運動を提起しています。これは、憲法と職場・仕事をあらためて見つめなおし、職場・仕事から憲法とのかかわりを率直に出し合い、エッセイ、コラム、短文、レポート、詩、短歌など、それぞれに合った表現のしかたで、メッセージや思いをつぶる運動です。職場からの多数の原稿・メッセージをお待ちしています。

▶応募先 大阪自治労連・憲法闘争本部

あて先の住所などは表紙の「題字」下を参照してください

▶寄せられた原稿やメッセージは、機関紙や宣伝物に掲載していきます

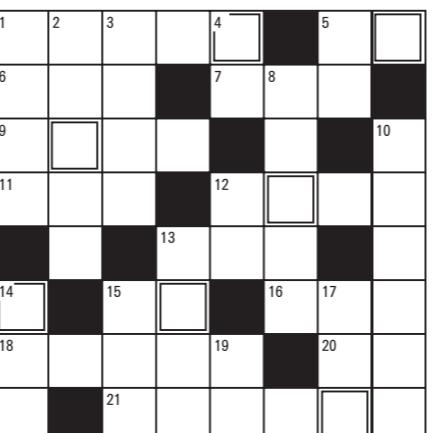


タテのカギ

(解き方)二重ワクの文字を並べ替えて意味の通る言葉にしてください。

パワーウルドス

出題者：山本汎昭さん



ヨコのカギ

ヒント：働いても働いても貧困からぬけ出せない



フリーダイヤル
労働相談ホットライン
0120-667-619

5月14日から
労働相談を開設しました
秘密厳守・相談無料・
携帯OK

新語

十番勝負

最近チラシや行事案内などのビラの片隅に正方形で印刷されているQRコード。(現在は分離し、デンソーウェーブとなっている)1994年にデンソーの開発部門が開発したマトリックス型二次元コードの一種です。白と黒の格子状のパターンで情報を表します。QRコードは横方向にしか情報を持たないのでに対し、QRコードは縦横に情報を持ちます。そのため、格納できる情報量が多く、数字だけでなく英字や漢字のデータも格納できるのが特徴です。QRはQuick Responseに由来していますが、デンソーの登録商標になっています。

QRコード

「憲法施行60年のつどい」に1800人

1947年5月3日に現在の日本国憲法は施行しました。施行以降、5月3日は「憲法記念日」として国民の祝日になり定着してきました。今年の5月3日はちょうど施行60周年。大阪市天王寺区の国際交流センターでは、「九条の会・おおさか」主催の「憲法施行60年のつどい」が開かれ、会場あふれて第2会場もいっぱいの1800人が詰めかけました。

ついで、元広島市長でジャーナリストの平岡敬さん

がスピーチで「暴漢に撃たれ

た長崎市長は友人であり、平和と核廃絶運動の同志だっ

た。戦前、マスコミやジャーナリズムも戦争に協力した歴史がある。しかし、本来のジャーナリズムは権力を監視するもの。国民の側に立った報道をする必要がある。改憲の動きが顕著ないま、マスコミやメディアは市民と手をつな

本会場も第2会場も参加者であふれる中で、「憲法をなんとしても守ろう」の思いがあらためて強く共有されたつどい

いでの勇気を持つて改憲をねねえす力になるように、国民の側からも励ましてほしい」と自身の体験を踏まえて強調しました。

また、つどいでは、憲法学監督の井筒和幸さん(関西大

学)と映画『パッチャギ!』の

木下智史さんは「安倍首相がなぜ執拗に憲法改正をいうの

か。①今の憲法が日本国民の自主的なものでなく押し付けられた憲法だから②施行から60年も経つて古くなつたから

③憲法を新しくして、新しい

時代のスタートにしたいから。気分転換に窓を開けるよ。うな感覚で改憲されることはかなわない。憲法はまだ60年しか経っていない。いまたいへんな時だということをもっと多くの国民に伝えることが大事。改憲されても日本は平和

のときには、祖母は『兵隊にいたり、何もないで、とにかく早く帰つておいで』と父に言った。庶民の実際の思い

は『国のために死んでおい

で』ではなかった。当たり前のことが書いてあり、国の横

暴や権力の行使を監視する装

置が憲法だ。改憲で軍隊を公

然と持つようになると、今の

貧困・格差社会であらいでいる若者たちを軍隊に誘い込む

ようになる。『手当が出る。

収入が増える』と勧誘し『き

みの若い力で一緒に国を守ろ

う』のCMやポスターが街中

に出回ることになる』と、改

憲の危険性を熱く語り、メッセージをおくりました。

1947年5月3日に現在

の日本国憲法は施行しまし

た。施行以降、5月3日は

「憲法記念日」として国民の祝日になりました。

今年の5月3日はちょうど

施行60周年。

大阪市天王寺

区の国際交流センタ

ーでは、「九条の会・おおさか

」主催の「憲法施行60年のつどい」が開かれ、会場あふれて第2会場もいっぱいの1800人が詰めかけました。

ついで、元広島市長でジャーナリストの平岡敬さん

がスピーチで「暴漢に撃たれ

た長崎市長は友人であり、平和と核廃絶運動の同志だっ

た。戦前、マスコミやジャーナリズムも戦争に協力した歴史がある。しかし、本来のジャーナリズムは権力を監視するもの。国民の側に立った報道をする必要がある。改憲の動きが顕著ないま、マスコミやメディアは市民と手をつな

いでの勇気を持つて改憲をねねえす力になるように、国民の側からも励ましてほしい」と自身の体験を踏まえて強調しました。

また、つどいでは、憲法学監督の井筒和幸さん(関西大

学)と映画『パッチャギ!』の

木下智史さんは「安倍首相がなぜ執拗に憲法改正をいうの

か。①今の憲法が日本国民の自主的なものでなく押し付けられた憲法だから②施行から60年も経つて古くなつたから

③憲法を新しくして、新しい

時代のスタートにしたいから。気分転換に窓を開けるよ。うな感覚で改憲されることはかなわない。憲法はまだ60年しか経っていない。いまたいへんな時だということをもっと多くの国民に伝えることが大事。改憲されても日本は平和

だと思っている国民が多い。

改憲派は、国民がもっと国に奉仕し、命まで投げだしていく

ためにいろいろと都合よく九

条を解説してきた。しかし、

限界がある。これ以上は無

理。だから、変えるしかない

というわけだ」と指摘しまし

た。

井筒和幸監督は「父が出征

のときには、祖母は『兵隊にい

つても、何もしないで、と

に

言つた。

庶民の実際の思い



マスコミ・ジャーナリズムの

るべき姿勢を語る

平岡 敬さん
(元広島市長)



熱いトーク
『パッチャギ!』の井筒和幸監督も

新語

新人材バンク

十番勝負

安倍首相が経済財政諮問会議で表明した、「天下りの規制」を目的に、2008年に内閣府に設置される官民人材交流センターのこと。国の各省庁がこれまで行ってきた国家公務員の再就職あっせんは禁止され、「能力・実績主義」「新たな人事評価制度」のもとで、センターによるあっせんに一元化されます。安倍内閣の公務員制度改革の柱とされていますが、「天下りのあっせんを公認したもの」との批判が高まっています。